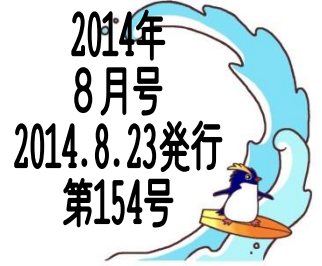




オリーブ通信

http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu



オリーブ創立 20 周年記念パーティ特集号。オリーブのこれからの更なる飛躍を!!!

「熱い思いに感動！」～日本語スピーチを担当して～

宋さんは、日本のドラマについて、そのジャンルや自分が抱いた感想などを述べました。最初の発表だったので、とても緊張したと思います。その中で、特に俳句を用いて表現する場面がありました。日本語のレベルの高さにとても感心しました。次のトジさんは、価値観について自分自身の人生観のようなものを用いて表現しました。そのとても熱い語りかけは、聞く人に感動を与えたと思います。続いてアシャドラさんは、バングラデシュについて説明しました。自分の国を愛する思いがよく伝わってきました。全ての文章をほぼ完璧に覚えていて、とても聞き取りやすい日本語でした。最後の莫さんは、ボランティア活動に参加した体験から、琵琶湖の美しさに改めて気づいたこと、さらに苦しいことの中にこそ、本当に大切なものがあることがわかったと語りました。

どの方も自分の言葉で一生懸命にスピーチしました。そのチャレンジ精神と日本語を少しでも上手になりたいという思いに、もう一度大きな拍手を送りたいと思います。 スピーチ担当 杉山仁

第一に、それは私にとって素晴らしい1日でした。特に私の国についていろいろな事を言う機会を得たことが。正直、私は別の機会に私自身の言語または英語で多くのスピーチをしてきました。しかし日本語のスピーチは初めてでした。スピーチをすることになって私はとても緊張しました。しかし1週間ほど前から準備をしていたため少し簡単になったと思えました。一方で壇上へ上がった、聴衆の前で原稿を見ずに演説したことは信じられない挑戦でした。私は観客に自分を表現するために勇気をふるってベストを尽くしました。最後に私はとても楽しく感じ、私のために努力をしてくれたオリーブの先生方に心から感謝します。(アシャドラ)



(スピーチ出場者)



(莫黎明さん)



(アシャドラさん)



(宋建政さん)



(トジ・マルコスさん)



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

「紛失した財布を見つけた」と「・・・が見つかった」では、前者が自分の努力によって「見つけた」のに対して、後者は「掃除をしていたら偶然見つけた」とか「だれかが見つけてくれた」という意味になる。

「司会者を見つめました」と言った学生に、「なんだか犯人みたいだね」と言ったら、「つかまりました」。せめて「つかまえました」と言ってほしかったところだが、この「司会」談義は「視界」不良で終わりそうです。

もちろん司会者も「ずっと探していた」のだが、特定の個人を探していたのではなく、「だれでもいい」というわけではないが「中から現れ出たわけなので、「見つけた」がふさわしいということになる。

「なぜおかしいのか」と言うと、「見つける」というのは他動詞で、話し手の意志が働いているので、「探していたものをやっ」と探して当てた」場合に使うものだからである。「欲しかったバッグをやっ」と高島屋で見つけた」とか「逃走していた犯人を見つけた」という状況で使う。

筆者の勤務する大学では、毎年年末に、留学生会が予餞会をすることになっているのだが、企画担当の3年生中国人留学生に会ったので、「どう、見つかった？」と聞くと、「はい、見つけました」という返事。苦笑いしてしまった。

自動詞/他動詞の対立は、そのような二項対立を持たない、例えば中国語母語話者には、なかなか習得の難しい項目になっている。

司会を見つけました

中川先生のへんてこ日本語

49



7月20日、日曜日、オリーブ20周年記念パーティが行われました。大勢の人で賑わう中、代表、ご来賓の方々のご挨拶に続いて始まったのは、澄み渡るような笛の音と木のぬもりを感じるジャンベの演奏です。ご出演いただいたグループのお名前は『ムティワサウティ』。音の木という意味だそうです、まさにそれを表すパフォーマンスでした。ジャンベを初めて見る人も多かったのではないのでしょうか。

パーティの雰囲気より出たところで、オリーブで勉強している生徒たちから勇気ある4人がスピーチをしてくれました。日頃の勉強の成果が見られるとあって、先生もほかの生徒たちも真剣な顔で聞き入っていました。みなさん、満足のいくスピーチができたでしょうか。こんな機会はあまりないですが、またたくさんさんの生徒がスピーチをしたい！と言ってくれたら嬉しいです。

さて続いては皆さんお楽しみの食事タイム。ペルー、ブラジルをはじめ、書ききれないほどたくさんの国の料理がところ狭しと並べられ、色々な国の料理を食べることができました。どれもおいしくて、オリーブのパーティならではの各国料理を楽しみました。



賑やかな中、南京玉すだれのステージが始まり、皆ステージに注目です。日本人にとっては馴染みがありますが、外国の方々にとっては珍しかったようで、目を丸くして見ている人もいましたね。

さて、続いては華やかなフラメンコです。前日のリハーサルの時から皆が見とれてしまうような雰囲気、やはり本番も皆うっとりとして見入っていました。最後の曲はお客さんもステージに上がってステップを踏み、とても盛り上がりました。そして最後のステージはフラダンス。こちらも華やかでかわいらしく、会場全体が明るく微笑ましい雰囲気に包まれました。



素敵なステージを見た後は、皆でゲーム。わいわいがやがや、どこのチームが優勝したのか外から見ていたら分かりませんが、いつも話す機会がない人同士も話すことができよかったようです。最後はみんなで練習してきた曲『明日があるさ』のオリーブバージョンの合唱です。楽しい時間が終わってしまうという寂しさと、やり切ったという充実感がありました。

今回は、準備段階から先生だけでなく生徒たちにも入ってもらって一緒に作り上げたので、みんなで力を合わせた！というパーティになってよかったと思います。生徒も先生もみんな一緒に楽しんだり頑張ったり、時には悩んだりしながら、明日があるさ、とオリーブはこれからも前向きに進んでいきます。

これから先10年後、20年後もオリーブが続いていますように。

お手伝いして下さった皆様、お越しく下さった皆様、本当にありがとうございました。これからもオリーブをよろしく願います。(レポート：小島裕子)



パーティは、メンバーがそれぞれ役割分担して準備・運営をおこないました。お疲れさまでした。各担当から感想をひとこと。

受付(重松) パーティ参加者 150 名を超えるとの事前の情報で、当日受け付けはごった返すのでは？と懸念していたけれど、お手伝いの王俊娜さん、松本霞さん、的場さんたち 3 人の機敏な動きでほとんどこんがらがらなくてもスムーズに参加者たちに会場まで入ってもらうことができました。



会場(豊村) 私が会場担当とは言え、レイアウトはほとんど川瀬さんに考えてもらい、飾りつけも皆さんで自主的にやっていただきました。今回はオーブの女性の行動力のすばらしさを感じたと思います。えっ、ほめ過ぎですか？ いえいえけっしてそんなことはなく本音です。最後の後片付けはパーティの参加者にも手伝ってもらい、主催側と参加者が一体になった手作り感のあるパーティになったのではないかと思います。



料理(田中一) これまでの周年記念パーティと同じ様な気持ちで気安く料理係りを引き受けましたが、力不足でした。お料理の発注などは、恩地さん、小春さん、吉田さんたちにお任せし、日毎に増える参加人数に持ち込み料理も合わせて足りるのか否かわからず心配しました。飲料 60 本、果物 20 皿も含めて十分足り、お料理の評判も良かったと聞き、ほっとしています。皆様ご協力ありがとうございました。



司会(小春) 何を血迷ったか。「やります！」と手を挙げたのがウンのつき！？参加人数がどんどん膨れ上がるにつれ、手を挙げたことを大後悔しました。にもかかわらず、前日まで、会計やらめくりやらをしていて全く司会の準備をせず・・・はい。司会をなめていました。リハで、恩地さんに「え～？大丈夫～？？」と心配させてしまい、前日夜に、急いでシナリオを作ったけど、「あー。あめんぼあかいなあいうえお」唱える時間なかった～、という状態でのぞみました。案の定、カミカミ、固い、お腹に力が入っていない、というダメダメの司会で、みなさん、申し訳ありませんでした。あー司会は難しい・・・と、普段何気なく司会の言葉を聞いていた私は今回実感しました。やっぱりウラ方がいいわ～！

アトラクション(小島) オーブに入って初めての大きなパーティ。事前の打ち合わせでは皆さんに任せっきりだったので、アトラクションご出演者のご案内は、正直言って当日ドキドキでした。でも実際にパーティが始まると、他の先生方も手伝ってくださったのと、何よりご出演者の方々が慣れていらっしやだったので、1 伝えたら 10 わかってくださるといった感じでとても助かりました。思っていたより疲れたけど、ステージも素晴らしかったし、料理もおいしかったし、思っていたより楽しかったです。また来年。また 10 年後。



音響・幕(堀野) オーブの 20 周年パーティでは音響兼緞帳係を担当しました。“音”担当ということもあり、元バンドマンである経験が役立てられたと思います。特に意識したことは、パーティに来てくださった約 150 人全員に、笑顔でガヤガヤと騒がしいぐらい盛り上げていただけるよう、BGM の選曲や音量などを考えたことです。自分の気分が高揚しすぎて、音量が大きすぎるとの指摘を受けたりもしましたが・・・(笑) そんなこんなで皆さまと一緒にパーティを満喫できてとても楽しかったです。

ゲーム(納谷) 今年のゲームは、軽い板をみんなの指で支え、落とさないように床まで下ろす「バランスゲーム」と、「伝言ゲーム」でした。バランスゲームは簡単そうに見えて意外と難しく、やるほうも見るほうも盛り上がりました。伝言ゲームでは、有名な言葉を少し変えた、ひっかけ問題も出題。「猫にごはん」「豚にしんじゅ」が、すぐ「猫にこぼん」「豚にしんじゅ」に変わってしまいました。「のれんにふでおし」は最後まで正しく伝わりましたが、最後の人が迷ったあげく「のれんにうでおし」を選び不正解。昔の映画のタイトルを少し変えたものは最後まで正しく伝わり、「簡単だった。」「その映画、知らない。」と言われてしまいました。

助っ人(川瀬) ボードゲームと伝言ゲームを今回やらせていただきました。ボードゲーム：比較的ウマくできたと思います。思いの外盛り上がりました。伝言ゲーム：当初 1 グループ 2 班に分ける予定だったのが、1 班で開始してしまったのは失敗でした(結構だらけてしまった) 今後伝言ゲームをするのであれば、人数によりますが、前後で分けてやると盛り上がると思います。



先月の活動(7月)



日本語教室 7/5(M), 12, 26 (3回)
 パーティ会議 7/5, 12 17:30~19:00
 パーティ準備(授業なし) 7/19(土) 15:00~21:00
 オリーブ20周年パーティ 7/20(日) 9~17時
 BNN会議 7/12(土)(佐野)
 草津市市民公益活動団体連協 7/9(水)(恩地)
 まちセン運営協議会施設部会 7/24(木)(田中一)
 KIFA広報部会 7/13(日)(欠)
 BNN指導者養成講座 7/27(日)(佐野)

今月の活動予定(8月)



日本語教室 8/2(M), 9, 23, 30 (4回)
 パワフル市民交流事前打ち合わせ 8/9(恩地、川瀬)
 草津市市民公益活動団体連協 8/5, 8/12(火)(恩地)
 まちセン運営協議会全体会 8/19(火)(田中一)
 BNN指導者養成講座、BNN会議
 8/10(日) 8/24(日)(佐野)



●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または参加予定者。敬称略



お知らせ

参加人数(7月)

	7/5	7/12	7/19	7/26
先生	19人	15人	準備	20人
生徒	21人	27人	準備	22人

7/19(土) パーティ準備のため参加人数確認できず。

会員の動き(7月)

入会 4名(下記)
 退会 なし
 賛助会員 3名 岸本久さん
 森本まちこさん(2口)
 鈴木百合子さん



(中村信輔さん)

中村信輔です。(元オリーブの)松岡さんの紹介できました。大学3回生で卒業まで時間があるので先生たちと協力して生徒さんが「わかった!」と思ってくれるように教えてあげられたらと思います。



(中村健治さん)

国際交流のイベントを企画したり外国人と接することが大好きです。日本語指導の経験はありませんがこれから勉強して役に立てればいいと思います。



(田中莉紗さん)

你好!台湾から来ました田中莉紗です。台湾で日本語の家庭教師になるため、ここへきて見学させてもらってから1か月になります。いろんな外国人が頑張っている姿を見て、自分も頑張らなきゃ!と思いました。大変勉強になりました!また来年の冬に来ますのでよろしくお願いします。



(川瀬祥子さん)

10年近くぶりに復帰しました。OLIVEの年齢層も当時と変わり雰囲気も変わりました。新たな気持ちで頑張ります。愛猫のゆき姫です。私同様よろしく!!!

編集後記

今回はオリーブ20周年記念パーティを中心の記事となりました。パーティが近づくにつれそれぞれに与えられた役割を学習者の人たちも参加し着々とこなしてパーティへとつないでいった皆の行動力(これぞオリーブの底力)には目を見張るものがありました。皆さん、お疲れ様でした!!! (S.E.)